



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社
コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長
四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 戸田 幹雄
(氏名) 高橋 貞雄
配当支払開始予定日

TEL 06-6969-1131
平成29年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,066	△2.7	326	△25.0	403	△21.6	265	△34.7
29年3月期第2四半期	23,718	2.0	435	137.4	514	180.0	406	281.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	29	81	—	—
29年3月期第2四半期	45	08	—	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	70,937		32,062			45.2
29年3月期	68,788		32,545			47.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 32,062百万円 29年3月期 32,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	—	—	40.00	—	—
30年3月期	—	40.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。平成29年3月期の1株当たり期末配当については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当金は80円となります。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	47,300	1.1	800	21.9	800	24.6	1,000	16.1	112	21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	9,451,169株	29年3月期	9,451,169株
30年3月期2Q	672,469株	29年3月期	516,905株
30年3月期2Q	8,911,670株	29年3月期2Q	9,027,736株

※平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなか、引き続き緩やかな回復基調にあるものの、米国の経済政策運営や東アジア情勢の緊張状態による影響等のリスクも存在しており、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

医薬品業界では、平成28年12月に政府が公表した薬価制度の抜本改革に向けた基本方針のもと、薬価の毎年改定の方針が示されるなど、医療費適正化諸施策が推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大、企業間競争の激化など収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品および輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は人工腎臓用透析剤キンダリーの売上が伸長したものの生理食塩液など一部の製品の減収もあり、230億66百万円と前年同四半期と比べ6億52百万円(2.7%)の減収となりました。利益面では製造原価の低減に努めてまいりましたが、売上高の減少に伴い、営業利益は3億26百万円と前年同四半期と比べ1億8百万円(25.0%)の減少、経常利益は4億3百万円と前年同四半期と比べ1億11百万円(21.6%)の減少、四半期純利益は2億65百万円と前年同四半期と比べ1億41百万円(34.7%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、709億37百万円と前事業年度末と比べ21億48百万円(3.1%)の増加、負債は388億74百万円と前事業年度末と比べ26億31百万円(7.3%)の増加、純資産は320億62百万円と前事業年度末と比べ4億82百万円(1.5%)の減少となりました。

なお、自己資本比率は45.2%と前事業年度末に比べ2.1%の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ16億27百万円増加し、65億79百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や法人税等の支払等があったものの、税引前四半期純利益や減価償却費の計上等により8億15百万円の収入となりました。(前年同四半期は16億83百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により11億60百万円の支出となりました。(前年同四半期は7億33百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得や配当金の支払等があったものの、長期借入金の増加等により19億73百万円の収入となりました。(前年同四半期は3億94百万円の収入)

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年3月期決算発表時(平成29年5月11日)に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,951	6,579
受取手形及び売掛金	21,358	21,634
商品及び製品	8,593	8,537
仕掛品	38	33
原材料及び貯蔵品	1,102	1,058
その他	951	755
流動資産合計	36,995	38,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,006	10,898
土地	9,046	9,046
その他(純額)	5,131	5,052
有形固定資産合計	25,184	24,996
無形固定資産	509	1,138
投資その他の資産	6,098	6,204
固定資産合計	31,792	32,339
資産合計	68,788	70,937
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,249	9,214
電子記録債務	3,067	2,951
短期借入金	5,948	6,626
未払法人税等	523	180
賞与引当金	919	938
その他の引当金	339	321
その他	4,636	5,043
流動負債合計	24,683	25,276
固定負債		
社債	38	—
長期借入金	8,250	10,367
退職給付引当金	1,419	1,389
その他の引当金	260	249
その他	1,592	1,591
固定負債合計	11,559	13,597
負債合計	36,242	38,874

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,057	11,966
自己株式	△1,727	△2,153
株主資本合計	36,098	35,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	953	988
土地再評価差額金	△4,506	△4,506
評価・換算差額等合計	△3,553	△3,518
純資産合計	32,545	32,062
負債純資産合計	68,788	70,937

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,718	23,066
売上原価	17,022	16,423
売上総利益	6,696	6,642
返品調整引当金戻入額	0	—
返品調整引当金繰入額	—	0
差引売上総利益	6,696	6,642
販売費及び一般管理費	6,261	6,315
営業利益	435	326
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	38	39
保険関係収益	100	107
その他	120	105
営業外収益合計	270	262
営業外費用		
支払利息	111	108
生命保険料	67	64
その他	11	13
営業外費用合計	190	186
経常利益	514	403
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	12	3
特別損失合計	17	3
税引前四半期純利益	497	399
法人税、住民税及び事業税	379	79
法人税等調整額	△288	54
法人税等合計	90	133
四半期純利益	406	265

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	497	399
減価償却費	983	923
固定資産売却損益 (△は益)	5	-
固定資産除却損	12	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72	19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	△29
受取利息及び受取配当金	△48	△49
支払利息	111	108
売上債権の増減額 (△は増加)	△289	△276
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△218	106
仕入債務の増減額 (△は減少)	516	△150
その他	172	186
小計	1,814	1,241
利息及び配当金の受取額	48	49
利息の支払額	△117	△111
法人税等の支払額	△62	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,683	815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,144	△347
有形固定資産の売却による収入	614	-
無形固定資産の取得による支出	△241	△744
投資事業組合からの分配による収入	104	14
その他	△66	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733	△1,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	200
長期借入れによる収入	2,850	4,250
長期借入金の返済による支出	△1,780	△1,654
社債の償還による支出	△38	△38
自己株式の取得による支出	△274	△425
配当金の支払額	△361	△356
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	394	1,973
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,343	1,627
現金及び現金同等物の期首残高	5,006	4,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,349	6,579

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。